

データの説明

データ番号 (コモンズセンターで記入します)	DPPSCdbp_2025-01
タイトル	要素処理モデルに基づく日本らしい感情の評定値データセット
作成者	菅原大地・雨宮 怜
問い合わせ先	菅原大地 E-mail: sugawara@human.tsukuba.ac.jp
概要(データの内容や作成方法)	日本らしい感情を同定するために基礎的な調査を行った。要素処理モデル (Scherer et al., 2009) という感情の生起メカニズムに関する広範な理論に基づいた FullGrid (Fontaine et al., 2013) という尺度を用いて、名残惜しい、わびさび、切なさ、哀愁、恥じらい、思いにふける、甘酸っぱい、愛憎についての評定値を求めた。
更新履歴(版・ファイル名・年月日)	Preliminary Survey: (2025 年 4 月 15 日) GRID_source code: (2026 年 4 月 19 日) GRID_data_2024: (2025 年 4 月 15 日) GRID_data_2025: (2026 年 4 月 19 日)
データの形式	Preliminary Survey: Excel GRID_source code: Excel GRID_data_2024: Excel GRID_data_2025: Excel
データのサイズ	Preliminary Survey: 180 KB GRID_source code: 42 KB GRID_data_2024: 203 KB GRID_data_2025: 724 KB
利用上の注意(メタデータの利用など)	一部のデータ(例えば、現在地の都道府県)については、本データセットでは公開していないため、必要があればお問い合わせください。本データセットの一部については学会発表済みであり、今後論文投稿予定である。現段階でデータを使用する場合は、本データセットのリンクを記載すること。
関連報告書・論文等	Fontaine, J. J. R., Scherer, K. R., & Soriano, C. (Eds.). (2013). Components of emotional meaning: A sourcebook. Oxford University Press. Scherer, K. R. (2009). The dynamic architecture of emotion: Evidence for the component process model. <i>Cognition and Emotion</i> , 23(7), 1307–1351. 菅原 大地・長峯 聖人・白井 真理子・一言 英文・雨宮 怜・井上 陽路 (2025) 快と不快を超えて—日本における典型的な混合感情の構成要素と差異— 日本感情心理学会 第 33 回大会
備考	本研究は、菅原大地 (筑波大学)・長峯 聖人 (江戸川大学)・白井 真理子 (信州大学)・一言 英文 (関西学院大学)・雨宮 怜 (筑波大学) が筑波大学人間系研究倫理委員会に申請をして、承認を得たうえで実施した (課題番号: 2024-199A)。